

- 問1 日本の社会保障制度には四つの大きな柱がありますが、そのうち、感染症の予防や上下水道の整備を行う「公衆衛生」や、病気や失業に備えて国民が保険料を出し合う「社会保険」などとは異なり、収入が少なく生活に困っている人々に対して、国や自治体が生活費や教育費などを支給し、最低限度の生活を保障する仕組みを何といいますか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 社会福祉                      2. 公衆衛生                      3. 社会保険                      4. 公的扶助
- 
- 問2 ある国で高齢化が進行し、医療や介護にかかる給付費が増大しています。この国が社会保障サービスの水準を低下させずに制度を存続させようとする場合、現実的にどのような政策をとる必要がありますか。最も適切なものを選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 給付水準を維持するために、国民の負担を極力抑える低負担の仕組みを導入する。                      2. 給付費用の増加を抑えるために、高齢者への給付サービスを大幅に拡充しながら負担も減らす。                      3. 現役世代の負担を全額免除し、給付費用をすべて将来の世代への借金（公債）のみでまかなう。                      4. 給付水準を維持するために、税や社会保険料など国民の経済的負担を増やして財源を確保する。
- 
- 問3 日本の社会保障制度において、公衆衛生が「社会保険」や「社会福祉」といった他の制度と異なっている点について、その目的や仕組みに基づいた説明として正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. あらかじめ国民から徴収した保険料を主な財源として、医療費の負担を軽減する点                      2. 家庭での介護が困難な高齢者に対して、日常生活を支援するサービスを重点的に提供する点                      3. 国や自治体ではなく、民間の保険会社が主導して加入者の健康診断を義務づけている点                      4. 特定の困窮者や加入者に限定せず、すべての国民を対象に病気の予防や環境の改善を図る点
- 
- 問4 国民負担（税金や社会保険料）の水準と、提供される社会保障の手厚さの関係について、税金などの負担を高く設定する代わりに、医療や介護、教育などの公的なサービスを非常に充実させている社会モデルを何と呼びますか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 中負担・低福祉                      2. 低負担・高福祉                      3. 低負担・低福祉                      4. 高負担・高福祉
- 
- 問5 日本の租税制度において、所得の多い少ないにかかわらず一律の税率が課される消費税は、所得の低い人ほど所得に占める税金の割合が高くなるという性質を持っています。このような消費税の性質を何と呼びますか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 比例負担                      2. 垂直的公平                      3. 累進性                      4. 逆進性
- 
- 問6 日本の社会保障制度において、社会福祉が担っている役割や仕組みとして正しい説明はどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 感染症の予防や公害対策、ごみ処理などを通じて、地域住民全体の健康な生活環境を整える仕組み                      2. 国民が病気や失業などのリスクに備え、あらかじめ保険料を出し合って相互に支え合う仕組み                      3. 高齢者や子ども、障害者などが安心して生活できるよう、施設への入所や自立のための相談といったサービスを提供する仕組み                      4. 生活に困窮する人々に対し、国が最低限度の生活を保障するために生活費などを支給する仕組み
- 
- 問7 日本の一般会計歳出に関する統計において、2015年度の歳出総額約96兆円のうち、30兆円を超えて最大の割合を占めている項目があります。年金、医療、介護、少子化対策などの制度を維持するために充てられるこの経費の名称として正しいものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 公共事業関係費                      2. 国債費                      3. 社会保障関係費                      4. 地方交付税交付金等
- 
- 問8 日本の国家予算において、高齢化に伴う社会保障費の増大などにより不足する歳入を補うために発行される、事実上の「国の借金」にあたる債券を何といいますか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 社債                      2. 外債                      3. 地方債                      4. 国債
- 
- 問9 社会保障制度の持続可能性を高めるための調整について、医療保険の保険料を引き下げる代わりに、医療機関で支払う窓口負担（自己負担の割合）を大きくする措置をとった場合、社会保障の財政状況はどのように考えられますか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 「社会保障給付費」が多くなり、税や保険料などの「国民負担」も大きくなる。                      2. 「社会保障給付費」が多くなるが、税や保険料などの「国民負担」は小さくなる。                      3. 「社会保障給付費」が少なくなるが、税や保険料などの「国民負担」は大きくなる。                      4. 「社会保障給付費」が少なくなり、税や保険料などの「国民負担」も小さくなる。
- 
- 問10 2000年代以降の日本では、社会保障制度を支える層と給付を受ける層のバランスが大きく変化しています。具体的には、2002年から2012年の10年間で、15歳から64歳の生産年齢人口が67.3%から62.9%へと減少した一方、65歳以上の老年人口は18.5%から24.1%へと増加しました。このような人口構成の変化が社会保障の運営に与えている影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 高齢者が社会の支え手として働く機会が増えたことで、統計上の生産年齢人口の割合が改善され、社会保障にかかる給付総額は2002年時点よりも減少した。                      2. 社会保障に必要な財源が不足しているため、国は社会保険料の徴収を廃止し、すべてを所得税や法人税などの税収のみで賄う仕組みへと完全に移行した。                      3. 年少人口が増加することで将来の現役世代が確保される見通しが立ち、現在の生産年齢人口が支払う社会保険料の負担は大幅に軽減されている。                      4. 年金や医療などの給付を受ける老年人口が増える一方で、制度を支える生産年齢人口が減少し、現役世代が負担する社会保険料などの負担が重くなっている。
- 
- 問11 2002年から2016年の統計において、日本の国債残高は年々増加傾向にあり、歳入に占める国債の割合も高い水準にあります。このように、国の歳入の多くを借金に頼る「公債依存度」が高い状況が続くことで懸念される問題点はどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 国の借金が増えることで、国民が支払うべき所得税や消費税が完全に廃止される。                      2. 政府の収入に占める租税の割合が極端に高まり、民間の経済活動が停滞する。                      3. 国債の発行によって通貨の価値が際限なく上昇し、深刻なデフレが進行する。                      4. 将来の世代が、現在の借金の元金や利子を返済するための負担を負うことになる。
- 
- 問12 1970年度から2014年度にかけて、日本の一般会計歳出の中で社会保障関係費の割合が2倍以上に膨れ上がった背景と、その予算を執行する行政機関の役割について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 景気対策として公共事業費を大幅に増やしたため、国土交通省がインフラ整備を主導している。                      2. 高齢化の進展により年金や医療の給付額が増大したため、厚生労働省が社会保障制度の運営を担っている。                      3. 地方財政の不足を補うための交付金が増加したため、総務省が地方自治体への予算配分を強化している。                      4. 国債の利払いや償還費用が急増したため、財務省が国の財政の健全化を最優先で進めている。